◎主な研究成果

◆青い森 紅(くれない)サーモンの開発

【目的】市場競争力の強い、青森県生まれのサーモンを開発する。
【結果】淡水で養殖し、2～4kgサイズで出荷できる大型ニジマスを開発し、種卵を県内養殖業者に供給した。令和2年から食用販売を開始した。
【今後】養殖業者と出荷量を増やし、青森県の地域特産品として定着させる。

青い森 紅サーモン（全長64cm　体重4.3kg）

◆サケの回帰資源を支えるふ化場指導

【目的】資源の増大及び回帰率向上を図る。
【結果】親魚捕獲尾数・ふ化場の増殖実態を把握した。
【今後】稚魚の適正飼育管理と適期・適サイズでの放流を普及する。

サケ採卵作業

◆ヒメマス漁業者と漁協の経営基盤の強化

【目的】資源状態と生態に関するデータ収集と解析を行う。
【結果】採捕魚の年齢組成により、資源状態を把握した。
【今後】指導参考資料として漁業関係者に普及する。

ヒメマス集荷場調査

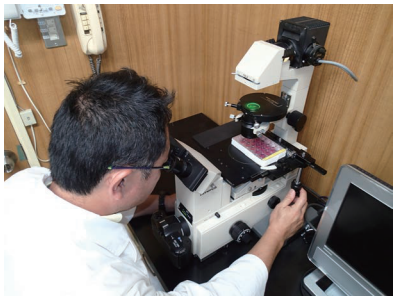
◆サクラマスの回帰資源増大対策

【目的】放流効果の把握と増殖技術の向上を図る。
【結果】放流魚の生産状況や移動分布、早期放流効果を把握した。
【今後】指導参考資料としてふ化場関係者に普及する。

リボンタグ標識を施されたサクラマス幼魚

◆養殖場等の魚病被害の軽減

【目的】養殖衛生管理、疾病対策に関する技術・知識の普及を行う。
【結果】魚病診断、防疫パトロールを行い、魚病被害の軽減に努めた。
【今後】指導参考資料として増養殖関係者に普及する。



魚病検査（検鏡中）

◆ヤマトシジミの種苗生産技術開発

【目的】シジミの持続的漁業生産のための種苗生産技術を開発する。
【結果】閉鎖循環飼育で殻長1mmの種苗を量産する技術を開発した。
【今後】より生残率の高い大型種苗の生産手法を確立する。

閉鎖循環飼育システムと生産したシジミ種苗

◎その他の試験・研究・調査

◆ニホンウナギの資源回復のための生態調査
◆コイヘルペスウィルス病モニタリング調査
◆ヤマトシジミ、ワカサギ、シラウオの生物調査
◆マス類の量産技術開発試験
◆カワウによる内水面漁業被害を把握するための調査
◆小川原湖と十三湖の環境モニタリング調査